

- 夏期の高温による生育不良や米価の下落等により水稻の収益が不安定であることに加え、近隣の漬物工場やスーパー等からの需要を受け、加工・業務用野菜の栽培を開始。
- 水田ほ場をはくさいやスイートコーンなどの高収益作物に転換し、毎年、ほ場に適した品種を試験選抜。
- はくさいは、定植、防除・肥料散布・水やりまで機械化。大型鉄コンテナで収穫し、自社で契約先に出荷することにより作業の省力化と経費削減を図っている。
- 今後は、はくさいに限らず加工・業務用向けを中心とした産地づくりに取り組んでいきたい。

株式会社山本宮農

- ・所在地 兵庫県佐用郡
- ・栽培面積：40ha
- ・栽培品目：
水稻、白大豆、はくさい、
スイートコーン、
ブロッコリー、キャベツ、
たまねぎ 等
- ・年間生産数量（R4年度実績）
白菜：30t
（うち加工・業務用：30t）



白菜の機械化体系

【生産】



【防除】



【収穫】



【貯蔵：販売】

JA兵庫西



【出荷】



実需者

A社（漬物製造メーカー）【兵庫県】
B社（量販店）【兵庫県】

取組の特徴

- ・ほ場を集約するとともに、機械が通れるよう畝間を広くして作業効率の向上を図っている。
- ・選抜した品種に加え、作付けにあたっては、ほ場条件等を考慮した結果、単収7t/10aを実現。

今後の目標と課題

- ・実需の規格に合わせた大きさになるよう安定生産技術の確立
- ・品質保持、出荷調整のための冷蔵、貯蔵施設の確保
- ・新規販売先の開拓